(様式第4号)

第7回 塩田地域協議会 会議概要

1 審議会名	塩田地域協議会
2 日時	令和2年1月16日(木)午後1時30分から午後3時まで
3 会場	塩田解放会館(塩田公民館)大ホール
4 出席者	山極 一雄 会長、山部 健壽 副会長 浅川 司 委員、阿部 ふさ子 委員、伊藤 準一 委員、尾崎 孝子 委員、 工藤 勇 委員、工藤 れい子 委員、神津 和夫 委員、小林 寿美男 委員、 坂田 忠則 委員、竹内 弘子 委員、龍野 藤人 委員、早坂 みどり 委員、 宮澤 郁夫 委員 (欠席者) 荒川 玲子 委員、安藤 健二 委員、中村 佳津枝 委員、 林 千尋 委員、若林 ひとみ 委員
5 市側出席者	上田市 塩田地域自治センター 小林 弘明 塩田地域自治センター長、酒井 重雄 塩田地域振興政策幹、 岩倉 光男 主査
6 公開・非公開	☒ 公開 ・ ☐ 一部公開 ・ ☐ 非公開
7 傍聴者	0名 記者 無
8 会議概要作成年月日	令和2年2月3日

協 議 事 項 等

1 開 会(副会長)
2 あいさつ(会長)
3 諮問事項 (1) 第二次上田市総合計画 後期まちづくり計画「地域の特性と発展の方向性検証シート」の見直しについて 前回までに指摘のあった箇所について事務局より説明 (委員)取組の内容「 地域特性を生かした観光振興」進捗状況の2番目にある「次年度」という言葉は、「令和2年度」という具体的な言葉に替えたらどうか。また、今後見込の2番目にある「次年度」という言葉を「令和2年度」に替えてもらいたい。加えて、塩田平のため池を愛する会もこれに協力しているので、準備という言葉の後ろに協力という言葉を加えて「令和2年度の全国大会に向けた準備と協力」としてもらいたい。 (委員)取組の内容「 緑農ゾーンの整備促進」の進捗状況の1番目だが、41組織あった水土里(みどり)会は平成30年6月に上田水土里会というひとつの組織にまとまったので、「水土里会」という言葉に頭に上田をつけて「上田水土里会」としてもらいたい。 (委員)取組の内容「 安心・安全で快適な生活環境の整備促進」の今後見込の1番目にある「柳沢バイパス」は3月20日に開通式を迎えるので、後半の「令和元年度から主要地方道別所丸子線柳沢バイパスの調査着手。」は鈴子バイパスの誤りだと思われる。 (事務局)以上3点は修正する。 (委員)取組の内容「 大学・研究施設等との連携促進」の進捗状況の2番目に「定住促進」という言葉があるが、これはここより「 安心・安全で快適な生活環境の整備促進」

にいったほうがいいという意見が前に出たが、これはどうなったのか。

(事務局) 一時保留とするとのことだったので、修正した箇所には含まれていない。本日の検討結果を反映する。

(委員) 取組の内容「 大学・研究施設等との連携促進」の進捗状況の2番目から「若年層の定住促進」という言葉を外すとすると、どういう表現になるか。

(委員) もし、「若年層の定住促進」を取組の内容「 安心・安全で快適な生活環境の整備促進」の視点・要素で取り上げると、取組の内容「 大学・研究施設等との連携促進」の視点・要素はひとつだけになってしまう。

(委員) 取組の内容「 大学・研究施設等との連携促進」の視点・要素の2番目はそのまま生かして、「若年層の定住促進」に関係する件はこれだけではないという意味で取組の内容「 安心・安全で快適な生活環境の整備促進」の視点・要素でも改めて提示し、取組の内容「 大学・研究施設等との連携促進」の視点・要素の2番目を前半だけ活かし「産・学・官・民の連携に係る地域情報の積極的発信」としたらどうか。また、進捗状況は「長野大学での講座、上田未来会議等の「信州上田学」により郷土愛を育む」としたらどうか。

(会長) とりあえずそのように保留とする。

(会長) 今回は取組の内容「 計画的な土地利用の推進」「 健康で文化的な生活の実現に向けた活動の推進」「 安心・安全で快適な生活環境の整備促進」について検討を行う。今回で各取組についての検討は一段落とし、来月は今までの検討内容を提示するのでそこで全体について微調整を行い、その後事務局の方で整備をして答申案を作成し、市長に対して3月26日に答申を行う予定となっている。それでは、本日は委員の都合により取組の内容「 安心・安全で快適な生活環境の整備促進」から意見をうかがいたい。

(委員) 今後見込の1番目後半「令和元年度から主要地方道別所丸子線柳沢バイパスの調査着手。」の「柳沢バイパス」は先ほど鈴子バイパスに修正するとのことだったが、「令和元年度から」は「令和2年度から」ではないか。

(委員) これは「令和元年度」からである。

(事務局) 答申の内容には一覧表の進捗状況と今後見込は含まれない。誤りは訂正するが、参考程度に考えていただきたい。

(会長) 一覧表の進捗状況と今後見込は答申には表れないが、答申内容を検討した過程でこういう事例を扱ったという記録にはなるので、誤りがあれば訂正してもらいたい。

(委員) 視点・要素の1番目に「歩道整備の計画的推進」とあるが、進捗状況を見ると具体的に該当する部分がない。平井寺トンネル無料化により県道上田丸子線の交通量が増加し歩道の整備を求めているが、可能ならば県道上田丸子線という言葉を入れてほしい。また、鈴子バイパスは令和元年度から概要設計に入ったが、可能であればこれについて視点・要素で触れてもらいたい。

(会長) 歩道整備の計画的推進が進捗状況に表れていないことと、鈴子バイパスは視点・要素を

増やして触れるということか。

(委員) 進捗状況には「奈良尾地籍の基幹農道開通、平井寺トンネルの無料化、主要地方道別所丸子線柳沢バイパス及び県道塩田仁古田線の工事着手をはじめ、計画的に推進。」とあるが、これはすでに実施している。鈴子バイパスはこれから着手することなのでこれらとは別というような感じがする。鈴子バイパスの概要設計の推進に向けた調整のような言葉をいれてもらえればということ。

(会長) 進捗状況にあるものはほとんど終わったことだから、同じ文章の中に入れて別々にしたほうがいいということか。

(委員) 柳沢バイパスは完成したので今後見込の柳沢バイパスについての記述は削除していい。「奈良尾地籍の基幹農道開通、平井寺トンネルの無料化、主要地方道別所丸子線柳沢バイパス」の事業は終了しているので、これらの終了した事業と、これから着手あるいは実施中の事業とは別々にして記述してほしい。

(委員) 進捗状況は結果に近い内容になるので、「今後の地域のまちづくりの方向性を考えるうえで課題・新たな視点等」に書いたらどうか。

(委員) 地元では鈴子バイパスの調査に入ったことは承知している。柳沢バイパスは実績の方でいい。

(会長) 「主要地方道別所丸子線柳沢バイパス及びの工事着手」という表現では工事を始めたばかりのようにとられてしまうが、柳沢バイパスはほぼ完成ということなのでちょっと表現が違うということか。

(委員) そのとおり。

(会長) では、今後見込には柳沢バイパスのことは書かないで、むしろ進捗状況にある「主要地方道別所丸子線柳沢バイパス」を「着手」ではなくて完成しているという表現に直す。歩道整備はある程度進んでいる路線はあるのか。

(委員) 歩道整備は要望している。例えば県道上田丸子線で東塩田小学校の歩道が狭くて傘をさして歩くのが危険なので拡幅してほしいと県にお願いしている。ただ、現実的には中々難しくて実現はしていない。

(委員) 県道塩田仁古田線では今年か来年女池のところを工事して、そこに歩道をつけるのか。

(委員) まだ用地の買収段階だが、県道塩田仁古田線と中塩田駅の踏切から北へ五加の自治会館へ行く斜めの交差点を直角に交わるように整備し、女池の北側を少し削って道路のカーブが緩やかにし、あわせて歩道をつけるということで進んでいる。

(委員) ひとつひとつ要望箇所を書くというのは難しいが、どういう表現にしたらいいか。

(委員) 進捗状況は市の担当課で書けばいいので上手に整理して表現してもらい、我々は視点・要素のところを重点的に考えればいい。

(会長) そうなると視点・要素の1番目「都市環状道路を含めた幹線道路網整備と既存道路にお

ける歩道整備の計画的推進」の表現はこれでいいか。

(委員) 既存道路の歩道整備は各自治会の切実な要望だが、用地を確保してくださいという時点で止まってしまう。一つの自治会で要望するのは難しいが子どもの安全を考えると歩道の整備はしてもらいたいし残しておいてもらいたい、実現性があるかは中々難しい。

(会長) ではこのまま残しておくということでしょうか。特に付け加え、例えば鈴子バイパスを強調するとかしなくていいか。

(委員) 一案だが、市民生活の中で歩道の整備は必須だが、視点・要素の1番目で「既存道路における歩道整備」に限定してしまっている、例えば改良整備と言ったらいいのか、歩道も路面もあるだろうが両方含んだ表現にしたらどうか。

(会長) 前段の「都市環状道路を含めた幹線道路網整備」というのは新設道路が中心になるので、既存道路については後段でしか触れられない。歩道の整備が重要だからあえて歩道を表に出しているのだろうが車道も重要だと、まだ整備してほしいところがあると。

(委員) 歩道に特化したイメージになっている。既存道路の車道についても改良や整備が必要。

(会長) 「既存道路の整備の計画的推進」、あるいは「歩道を含めた既存道路の整備良の計画的推進」といった具合か。

(委員) 東塩田では子どもたちの通学路で交通量が多いので歩道の整備が必要。歩道の文字は残してもらいたい。

(会長) 進捗状況の中に道路はたくさんあるが視点・要素で特に触れてもらいたい道路はあるか。

(会長) なければ視点・要素の1番目は「都市環状道路を含めた幹線道路網整備と既存道路における歩道を含めた整備の計画的推進」とする。進捗状況については完成したものやほぼ終わったものと、着手したものをわけて記述してもらいたい。

(事務局) 承知した。

(会長) 先の若者定住についてはどこかに新たに項目を作成するか。どこかに入れるというような感じではないので、別の項目にした方がいいか。

(委員) 取組の内容「安心・安全で快適な生活環境の整備促進」要素・視点の3番目「地域における防災・防犯・福祉ネットワーク等の体制づくりを通じたコミュニティの再生と充実」とは、コミュニティのことを一番言いたいのか。防災・防犯をしっかりとやるということではなさそうだし、意味がよくわからない。地域のつながりが希薄化しているから防災・防犯・福祉を手段として地域のつながりを強くしろというように読める。それが安心安全につながるのか。別々に必要な事ではあるが関連性はあるのか。

(委員) 「体制づくりを通じた」だから、防災・防犯・福祉を手段としてということで関係あるのではないか。

(委員) 「防災・防犯・福祉ネットワーク等の体制づくりの促進」でひと段落とし、「コミュニティの再生と充実」は別のこととして、もう一項目つくってもいい。確かにコミュニティ

は希薄なのでこれから再生充実していかないと防災・防犯・福祉の面でも支障をきたす。関係なくはないが、コミュニティの再生と充実はそのためだけではない。

(委員) コミュニティの再生と充実は必要な事ではある。

(委員) 塩田地域の住民自治組織で作成した「塩田まちづくり計画」でも昔の五軒組合の復活にたとえてコミュニティの充実で一項目設けてある。これも「塩田まちづくり計画」の「安全・安心なまちづくり」の中に入っている。

(会長) 「地域における防災・防犯・福祉ネットワーク等の体制づくりの促進」と「コミュニティの再生と充実」は別の項目に分けるということでいいか。

(委員) 取組の内容として安全安心をうたって要素・視点の3番目の今の項目があるわけだが、ここで言わんとしているのは防災・防犯が特に必要な生活弱者、福祉のネットワークを必要としている方々、そういった人たちをメインに考えているのではないか。これを分けてしまうと「コミュニティの再生と充実」といったら一生懸命お祭りをやるとか、自治会の公民館活動を充実させるとかそういう方向に行ってしまうので、難解な表現だがこのままで良いと考える。

(委員) 確かに「コミュニティの再生と充実」を切り離すと、そういう方向に行く可能性はある。防災・防犯・福祉の面でコミュニティが大事だということはよくわかる。このような議論をしてこの要素・視点の言わんとする意味が分かるようになってきた。

(会長) そうなると分けなくてこのままでいく。取組の内容「安心・安全で快適な生活環境の整備促進」でほかに何かあるか。

(委員) 要素・視点の2番目「上田電鉄別所線の存続のための活動を含めた公共交通の利用促進」の「存続のための活動」と「公共交通の利用促進」は別の内容ではないか。公共交通を利用しようというのは公共交通の利用促進であり、存続のための活動ではない。存続のための活動とは、利用してくださいと宣伝するとか、事業を作って利用せざるをしない状況にするとか、行政に要望するとかそういうことか。

(委員) 単に「上田電鉄別所線を含めた公共交通の利用促進」ではいけないのか。その方が表現としてはすっきりしている。なぜ存続のための活動という言葉を入れたのかわからない。

(委員) マイレールチケットに関しては自治会も協力しているから、「存続のための活動」という言葉が入ったのではないか。

(委員) 「存続のための活動」というのは上田市も入った別所線存続期成同盟会があり、自治会にお願いしているマイレールチケットとか撮影会とかのイベントを実施している。そのため存続のための活動として進捗状況にマイレールチケット、撮影会、秋のイベントが入っている。上田市としても大きなお金をかけて取り組んだことが相当ありますよ、協力していますよと言いたいのではないか。ただ、「存続のための活動」と「公共交通の利用促進」という文言が通じていない。

(委員) 両方出すとすると「上田電鉄別所線の存続のための活動」及び「公共交通の利用促進」とすれば通じる。

(会長)では、要素・視点の2番目「上田電鉄別所線の存続のための活動を含めた公共交通の利用促進」は、「上田電鉄別所線の存続のための活動」及び「公共交通の利用促進」とする。取組の内容「安心・安全で快適な生活環境の整備促進」ではほかに意見があるか。

(会長)ないようなので、取組の内容「計画的な土地利用の推進」について意見をうかがいたい。

(会長)ないようなので、取組の内容「健康で文化的な生活の実現に向けた活動の推進」について意見をうかがいたい。

(委員)視点・要素の3番目「健康で文化的な生活やこども食堂等次世代の健全育成に向けた活動の推進」は変更前だと「子育て支援、青少年育成に向けた、地域の体制づくりと環境整備の推進」で子育てや子どもの生活に対する環境整備が中心だったが、変更後は「健康で文化的な生活や」となると「健康で文化的な生活」の推進ということだから、子どもだけではなく大人も含めたことになるのか。

(事務局)進捗状況については変更前について記述してあるのでわかりづらくなってしまっている。子ども食堂が入ったのもいいが、健康で文化的な生活の実現に向けた活動の中ではないし、健康で文化的な生活と書いてあるが健康で文化的な生活の進捗状況は書いてない。

(委員)視点・要素の3番目の「健康で文化的な生活」という言葉は不要ではないか。視点・要素の1番目の「生涯学習活動の充実」や視点・要素の2番目「スポーツによる健康づくりの推進」によって「健康で文化的な生活」を実現に結びつけるということだから、「次世代の健全育成に向けた活動の推進」だけでもいいのではないか。

(委員)取組の内容に「健康で文化的な生活」と書いてあるから、視点・要素に「健康で文化的な生活」という言葉は必要ない。

(会長)では視点・要素の3番目「健康で文化的な生活やこども食堂等次世代の健全育成に向けた活動の推進」から「健康で文化的な生活や」という言葉は取る。

(委員)取組の内容「健康で文化的な生活の実現に向けた活動の推進」では、生涯学習の推進とスポーツの推進と次世代の健全育成が視点・要素となってわかりやすくなる。

(事務局)こども食堂を取組の内容「健康で文化的な生活の実現に向けた活動の推進」の視点・要素の3番目に入れてあるが、こども食堂は子どもだけではなく多世代交流といった人と人とのつながりの要素が大きいので、次世代健全育成に入れるよりも福祉的な内容となりなじまないように感じる。むしろ地域サロンに近い取組なので、取組の内容「安心・安全で快適な生活環境の整備促進」視点・要素3番目「コミュニティの再生と充実」の進捗状況に入れれば、こども食堂という言葉は出さなくてもいいのではないか。

(委員)こども食堂をここに入れたのは、現在こども食堂という取組が各地で活発なので塩田子ども食堂という言葉も入れてほしい、ついてはどこに入れるかとなると次世代だから取組の内容「健康で文化的な生活の実現に向けた活動の推進」視点・要素の3番目「健康で文化的な生活や次世代の健全育成に向けた活動の推進」しかないのではないかというくらいの話であり、入れる場所が不適當であれば別な部分に入れるべき。

(事務局)福祉的な要素は取組の内容「安心・安全で快適な生活環境の整備促進」視点・要素

3番目しかないので、ここに入れたらどうか。

(委員) こども食堂で本当に来てもらいたい子どもにはなかなか来てもらっていない。子どもたちから声を掛け合ってもらっているが、参加すると親御さんが子どもに食事をさせてないようにとられてしまう。そこで最近では地域食堂というような形で高齢者の方にも参加してもらって、多世代参加型に変化してきている。

(事務局) 取組の内容「安心・安全で快適な生活環境の整備促進」視点・要素3番目「コミュニティの再生と充実」進捗状況「事業者も参加する「地域包括ケアシステム検討会」により、医療と介護の連携に向けた検討」の下に加えて「こども食堂や地域サロンなど多世代や高齢者等の新たな居場所・交流拠点の整備推進」が今まで図られてきているので、そういうふうに入れるとすっきりする。

(委員) こども食堂あるいは地域食堂という言葉は視点・要素の方にも入れてほしい。視点・要素の3番目を「地域における防災、防犯、こども食堂など福祉ネットワーク等の体制づくりを通じたコミュニティの再生と充実」としたらどうか。

(事務局) 承知した。

(会長) では取組の内容「健康で文化的な生活の実現に向けた活動の推進」視点・要素の3番目は前半を削って「次世代の健全育成に向けた活動の推進」とする。次世代の健全育成に係る事業がほかにあるか。

(事務局) 進捗状況にあるブロック会議とかは塩田では盛んに実施しているが、視点・要素に入れるほどではない。

(委員) 親子ふれあい広場は毎月開催と書いてあるが、かなり活発に行っているのか。

(事務局) 年間20回くらいで参加が200組くらいだったと思われる。

(委員) たとえば視点・要素の3番目を「親子ふれあい広場など次世代の健全育成に向けた活動の推進」とするとどうか。

(事務局) 問題ない。

(委員) あえて入れる必要がなければ入れなくていい。

(会長) では入れないこととする。全体を通して何かあるか。

(委員) 取組の内容「健康で文化的な生活の実現に向けた活動の推進」視点・要素の2番目「総合型地域スポーツクラブ等との連携を通じたスポーツによる健康づくりの推進」は最後に「とスポーツ施設の充実」と入れていただきたい。上田市はスポーツ施設がきわめて貧困であり、塩田地域は大学を含め自然運動公園等のスポーツ施設が上田市の中では一番充実しているが、是非塩田地域がスポーツ文化の拠点になって欲しい。

(委員) 自然運動公園総合体育館は、3月から工事が入ると聞いたが立て替えるのか。

(事務局) 立て替えという話は聞いていないが、長期間閉館して工事を行う予定と聞いている。

(委員) 上田市のスポーツ施設は中途半端なものが多いので、きちっとした施設を作ってもらいたい。

(事務局) 大規模施設の整備だと予算付けの前段階に実施計画に載せるか、その段階までっていないのではないかと確認する。自然運動公園総合体育館は耐震化の工事であろうが確認する。

(事務局) 取組の内容「 計画的な土地利用の推進」視点・要素の1番目「都市的発展を促す区域と農業的に利用する区域を区分した秩序ある土地利用調整の推進」について意見をうかがいたい。

(会長) 若者定住を取組の内容「 安心・安全で快適な生活環境の整備促進」で取り上げる県はどのようにしたらいいか。

(委員) 若者定住を取り上げるのは取組の内容「 健康で文化的な生活の実現に向けた活動の推進」でもいい。健康で文化的な生活ができるような塩田にすることによって、若者も住みたくなるようになる。取組の内容「 安心・安全で快適な生活環境の整備促進」はどちらかというともっと基礎的な整備、必要最小限の整備で、取組の内容「 健康で文化的な生活の実現に向けた活動の推進」は文化的、スポーツ、潤いのある生活のよう感じられこちらのほうが若者の定住に結びつきやすい。取組の内容「 健康で文化的な生活の実現に向けた活動の推進」の文章中に若者の定住という言葉を入れる方法も考えられる。生涯学習を充実したり、スポーツを推進したり、施設も充実したり、次世代の健全育成をするということは、若者が入って子供も育てやすい、そういう意味になる。

(委員) いいのではないかと。

(会長) では、取組の内容「 健康で文化的な生活の実現に向けた活動の推進」について、若者の定住なり若者が住みやすくなるなり、そういう言葉を入れて事務局の方で表現を考えてほしい。そうすると取組の内容「 健康で文化的な生活の実現に向けた活動の推進」の視点・要素はそのままいい。

(事務局) 承知した。

(会長) ほかにどうか。意見がなければこれで一応閉じるが、今までの意見を整理して事務局から委員に提示し、また全体を通じて来月の地域協議会で意見をうかがいたい。

5 その他

わがまち魅力アップ応援事業の今年度からの継続事業について募集を開始、まちづくり講演会の出欠について事務連絡
次回の塩田地域協議会は2月20日(木曜日)午後1時30分から開催とする。

6 閉会(副会長)